



DocAve® version 6

SDK 管理シェル

ユーザー ガイド

目次

DocAve SDK 管理シエルの概要	7
構成	7
エージェント	7
はじめに	8
環境条件	8
DocAve 6 SDK	8
DocAve 6.0 SDK でサポートされる機能	8
DocAve 6 SP1 SDK で新しく追加された機能	9
重大な変更	12
DocAve 6 管理シエル	14
インストール	14
DocAve 6 管理シエルへのアクセス	15
DocAve SDK および管理シエルのアップグレード	16
DocAve 管理シエル コマンドレット リファレンス	16
DocAve マネージャーにログイン	16
日付オブジェクトの取得	17
時間オブジェクトの取得	19
更新の取得	20
更新の構成情報の取得	20
更新のテスト	21
更新のインストール	21
データベース暗号化キーのバックアップ	22
データベース暗号化キーのリストア	24

データ暗号化プロファイルのバックアップ	25
データ暗号化プロファイルのリストア	25
SharePoint の空白のセキュリティ検索設定オブジェクトの取得	26
ジョブの概要情報の取得	26
ジョブの詳細情報の取得	26
指定したモジュールのジョブの取得	27
SharePoint AD 削除済みアカウントの削除	29
情報を継承する権限の確認	29
空白のクローン SharePoint ユーザー権限設定オブジェクトの取得	30
空白のクローン SharePoint グループ権限設定オブジェクトの取得	30
SharePoint ユーザー権限のクローン	31
スタブ データベースの構成の取得	33
スタブ データベースの構成	33
ジョブ レポートのダウンロード	34
空白のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得	35
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得	36
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの作成	38
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取り消し	38
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの再利用	39
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの削除	41
アーカイバ インデックス データ情報の取得	41
バックアップのアーカイバ ジョブの詳細情報の取得	43
削除のアーカイバ ジョブの詳細情報の取得	43
フルテキスト インデックス ジョブの実行	44
SharePoint データのアーカイブ	45

空白のコンテンツ マネージャーのオンライン プランの取得	45
オンライン コンテンツ マネージャー プランの構成詳細の取得	45
オンライン コンテンツ マネージャー プランの作成	46
コンテンツ マネージャーのエクスポート プランの実行	48
コンテンツ マネージャーのインポート プランの実行	48
コンテンツ マネージャーのコピー プランの実行	49
コンテンツ マネージャーの移動プランの実行	50
コンテンツ マネージャーのオンライン プランの削除	51
展開マネージャー プランの実行	52
空白の最小単位バックアップの空白のプランの取得	52
最小単位バックアップ プランの構成詳細の取得	53
最小単位バックアップ プランの作成	53
最小単位バックアップ プランの実行	54
最小単位バックアップ プランの削除	55
プラットフォーム バックアップ プランの実行	56
レプリケーターのエクスポート プランの実行	57
レプリケーターのインポート プランの実行	58
管理シェルでオンライン レプリケーター プランの実行	59
空白の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの取得	61
SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの取得	61
SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのセキュリティ詳細の取得	62
SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブの構成詳細の取得	63
SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのオブジェクト詳細の取得	64
SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの作成	65
SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの実行	66

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの削除	68
すべての BLOB プロバイダ バイナリに関する情報の取得	69
BLOB プロバイダ の構成詳細の取得.....	69
BLOB プロバイダ設定の更新.....	70
新しいユーザーの作成	70
AD 削除済みアカウントのスキャン	72
特定の権限を持つユーザーまたはグループの検索	72
空白のローカル ユーザーの取得.....	73
ローカル ユーザーの情報の取得.....	74
ローカル ユーザーの削除.....	74
空白の Active Directory ユーザーの取得	75
Active Directory の情報の取得.....	76
Active Directory ユーザーの削除	76
Active Directory グループの情報の取得.....	77
空白の Active Directory グループの取得.....	78
Active Directory グループの削除.....	78
アーカイバ データのインデックス情報の設定.....	78
FipsAlgorithmPolicy の状態の設定.....	79
パスフレーズの設定	80
上位レベルから権限継承の中止	81
コンテンツ マネージャー プランの構成の更新.....	82
最小単位バックアップ プランの構成の更新	82
物理デバイスの構成詳細の取得	83
論理デバイスの構成詳細の取得	83
リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの構成の更新.....	85

アカウント マネージャーでユーザーの情報の更新	85
更新マネージャーで更新のアップロード	86

DocAve SDK 管理シェルの概要

DocAve SDK 管理シェルをインストールして使用する前に、システム要件およびファーム要件について、以下のセクションを参照してください。

構成

DocAve SDK および管理シェルを使用するには、お使いのファームに DocAve 6 プラットフォームが正しくインストールされ、適切に構成されている必要があります。DocAve 6 がファームにインストールされていない場合、DocAve SDK および管理シェルを使用できません。

エージェント

DocAve エージェントは、DocAve ジョブの実行を担当し、SharePoint オブジェクト モデルと相互にやり取りします。DocAve エージェントにより、DocAve マネージャーが該当のサーバーと通信することができ、DocAve 製品が正常に機能することができます。SharePoint ファームに、エージェントを少なくとも 1 つインストールしておく必要があります。エージェントがインストールされるサーバーでは、Microsoft SharePoint Foundation Web Application サービスを有効にする必要があります。このサービスを有効にしない場合、エージェントのインストール中に該当する DocAve 製品のエージェントを読み込むことができないため、DocAve 製品を使用することができません。DocAve エージェントがダウンした場合の冗長性を確保するために、DocAve エージェントを追加で他の SharePoint Web フロントエンド (WFE) にインストールしておく必要があります。

***注意:** インストールしたエージェントを実行すると、サーバーのシステム リソースの使用率が増加するため、サーバー パフォーマンスに影響を与えることがあります。ただし、サーバーにインストールしたエージェントを使用しなければ、システム リソースの使用率は低く抑えられるため、サーバー パフォーマンスへの影響はほとんどありません。

DocAve プラットフォーム、DocAve マネージャー、DocAve モジュール エージェントのインストールについては、[DocAve 6 インストール ガイド](#) を参照してください。

はじめに

SDK および管理シェルの起動に関する重要な情報については、以下のセクションを参照してください。

環境条件

DocAve 6 SDK の場合、.NET Framework バージョン v3.5 SP1 以上が必要です。

DocAve 6 管理シェルの場合、.NET Framework バージョン 3.5 SP1 以上、PowerShell バージョン v2.0 以上が必要です。

DocAve 6 SDK

DocAve 6 SDK が提供するプログラム インターフェイスを呼び出して、DocAve の機能をカスタマイズしたり、拡張したり、またはプログラミングすることができます。

DocAve 6 SDK で使用可能なコマンドに関する詳細情報にアクセスするには、以下の手順に従ってください。

DocAve マネージャー / エージェントがインストールされているサーバー上、**[スタート] > [すべてのプログラム] > [AvePoint DocAve 6] > [DocAve 6 SDK]** の順に移動します。

DocAve SDK ドキュメントという名前のヘルプ ファイルをダブルクリックして、この情報を表示します。次のパスのヘルプ ファイルを開くこともできます。…¥AvePoint¥DocAve6¥Shell¥DocAveModules¥DocAveModule¥DocAveSDK.chm

DocAve 6.0 SDK でサポートされる機能

DocAve 6.0 SDK でサポートされる機能は、次の表のとおりです。

モジュール	サポートされる機能
コンテンツ マネージャー	プランの実行
展開マネージャー	プランの実行

レプリケーター	プランの実行
最小単位バックアップ & リストア	- 新しいプランの作成 - 既存のプランの設定の更新 - プランの削除 - すべての既存のプランの取得 - プランの実行
プラットフォーム バックアップ & リストア	プランの実行
アーカイバ	- すべての既存のアーカイバ ルールの取得 - SharePoint オブジェクトに適用されているルールの取得 - SharePoint オブジェクトに既存のルールの再利用 - SharePoint オブジェクトに既存のルールの適用 - アーカイバ プランの実行
ジョブ モニター	- 指定のジョブの取得 - ジョブの概要情報の取得 - ジョブの詳細情報の取得 - ジョブのレポートのダウンロード

DocAve 6 SP1 SDK で新しく追加された機能

DocAve 6 SP1 SDK で新しく追加された機能は、次の表のとおりです。

モジュール	サポートされる機能
管理者	- ユーザー / グループ権限のクローン - AD 削除済みアカウントのスキャン - AD 削除済みアカウントの削除 - 指定の権限を持つユーザーまたはグループの検索

モジュール	サポートされる機能
コンテンツ マネージャー	• オンライン モード プランの作成 / 更新 / 削除 • オンライン モード プランの取得
展開マネージャー	• 既存のプランの取得 • 既存のプランのデザイン要素マッピングの移動先の更新 • 新しいプランの作成
アーカイバ	• SharePoint オブジェクトの継承状態の確認および変更 • すべての既存のアーカイバ プロファイルの取得 • SharePoint オブジェクトにルールが適用されているプロファイルの取得 • SharePoint オブジェクトにプロファイルの適用 • 適用済みプロファイルの取り消し
ストレージ最適化 BLOB プロバイダの設定	• スタブ データベースの構成の取得 • スタブ データベース設定を使用する • RBS 設定の取得 • RBS 設定の構成 • EBS 設定の取得 • EBS 設定の構成
リアルタイム ストレージ マネージャー	• リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得 • 既存のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの設定の更新 • 既存のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの削除 • すべてのリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得 • SharePoint オブジェクトにリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの再利用

モジュール	サポートされる機能
	• SharePoint オブジェクトに適用されているリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得 • リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取り消し
スケジュール ストレージ マネージャー	• すべての既存のストレージ マネージャー プロファイルの取得 • SharePoint サイト コレクション上にストレージ マネージャー プロファイルの再利用 • SharePoint サイト コレクションからストレージ マネージャー プロファイルの取り消し
SharePoint 2007 to 2010 移行 (オンライン モード)	• すべての既存のプランの取得 • 新しいプランの作成 • 既存のプランの設定の更新 • プランの削除 • プランの実行
更新マネージャー	• すべての使用可能な更新の取得 • 更新のアップロード • 更新のテスト • 更新のインストール
ストレージ構成	• すべての既存の物理デバイスの取得 • CIFS シェア タイプの物理デバイスの作成 • すべての既存の論理デバイスの取得
アカウント マネージャー	• ローカル ユーザーの追加 • 既存のローカル システム ユーザーの設定の更新 • ローカル システム ユーザーの削除 • Active Directory ユーザーの追加

モジュール	サポートされる機能
	- 既存の Active Directory ユーザーの設定の更新 - Active Directory ユーザーの設定の更新 - すべての既存のローカル ユーザーの取得 - すべての Active Directory ユーザー / グループの取得
コンプライアンス Vault	- すべての既存のプロファイルの取得 - SharePoint オブジェクトに適用されているプロファイルの取得 - SharePoint オブジェクトにプロファイルの適用 - SharePoint オブジェクトの継承状態の確認および変更

重大な変更

重大な変更とは、特定の操作および機能の動作または名前が DocAve 6.0 と DocAve 6 SP1 で異なる DocAve SDK の変更点です。DocAve 6 SP1 での重大な変更は次のとおりです。

- ライブラリ ファイルがもう 1 つ必要です。*DocAveInstallDir¥Shell¥DocAveModules¥DocAveModule* ディレクトリにある *Storage.dll* ファイルです。
- 名前空間はこの SP1 で再構成されています。
- ジョブ モニター サービスの一分の方法について、Integer 型のパラメータのタイプが *long* から *int* に変更されています。
- ネイティブ SharePoint API タイプの曖昧さや混乱を避けるため、表のように、**AvePoint.DocAve.API.Objects** の下のタイプ名を変更してください。

元のオブジェクト名	変更名
SPList	SharePointList
SPObject	SharePointObject
SPSite	SharePointSite
SPTree	SharePointTree

元のオブジェクト名	変更名
SPWeb	SharePointWeb
SPWebApplication	SharePointWebApplication

- よりわかりやすくするために、*ContentManagerService* は *ContentManagerOnlineService* および *ContentManagerOfflineService* の 2つのサービスに分けられました。
- タイプ *GranularBackupAndRestoreService* は *GranularBackupService* という名前に変更され、*DataProtectionService* のプロパティ名はそれに応じて変更されています。
- タイプ *PlatformBackupAndRestoreService* は *PlatformBackupService* という名前に変更され、*DataProtectionService* のプロパティ名はそれに応じて変更されます。

DocAve 6 管理シェル

DocAve 6 は、Windows PowerShell をベースにしたコマンド ライン管理インターフェイスです。用意されているコマンドレットを使用して、DocAve のオペレーションを実行することができます。

インストール

既定では、**DocAve 6 管理シェル**は DocAve マネージャー / エージェントと一緒にインストールされます。

[スタート] > [すべてのプログラム] > [AvePoint DocAve 6] > [DocAve 6 管理シェル] の順に進むと、DocAve 6 管理シェルが見つかります。

DocAve マネージャー / エージェントがインストールされていないサーバーに DocAve 6 管理シェルをインストールすることもできます。**DocAve 6 管理シェル** を個別にインストールするには、以下の手順を参照してください。

1. DocAve インストール パス (…¥AvePoint¥DocAve6) で、DocAve 管理シェルのインストール先のサーバーに、**Shell** という名前のフォルダーをコピーします。
2. …¥Shell¥Setup の下の **ShellInstallation.exe** を右クリックして、**[管理者として実行]** を選択します。
3. ローカル インストール パスを指定するか、または、**Enter** を押して既定の場所 (C:¥Program File ¥AvePoint) を使用します。

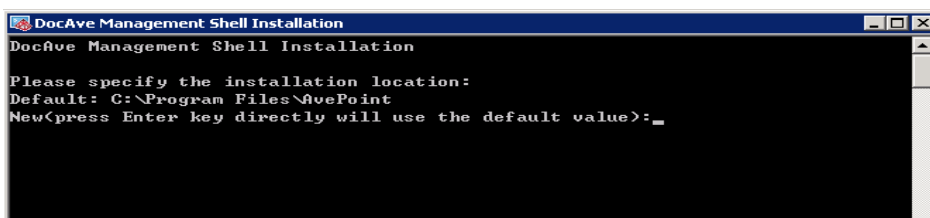


図 1: インストール場所を指定します。

4. インストールが完了したら、任意のキーを押して終了します。

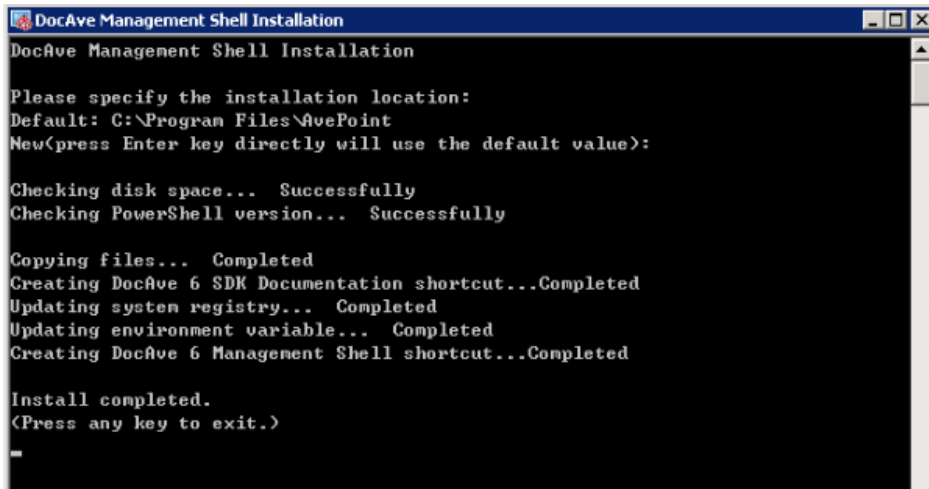


図 2: ツールを終了します。

DocAve 6 管理シェルへのアクセス

DocAve 6 管理シェル をインストールした後にアクセスするには、次の 2 つの方法があります。

- [スタート] > [すべてのプログラム] > [AvePoint DocAve 6] > [DocAve6 管理シェア] の順に移動し、[DocAve 6 管理シェア] をクリックしてインターフェイスを開きます。
- **Windows PowerShell** を使用します。Windows タスク バーの左側にある [Windows PowerShell] アイコン  をクリックして開きます。次に、コマンドを実行して、DocAve 6 PowerShell モジュールをインポートします。**Import-Module -Name DocAveModule -DisableNameChecking**

***注意:** DocAve コマンドレットを使用する前に、まず、**Login-DAManager** コマンドレットを使用して DocAve にログインする必要があります。**Get-Help Login-DAManager** と入力すると、このコマンドレットの詳細な使用方法が表示されます。

DocAve 6 で使用可能なすべてのコマンドの概要を表示するには、**Get-Command -Module DAModule** を実行します。

モジュールに関連するコマンドをすべて検索するには、**あいまい一致** クエリを使用します。例えば、**最小単位バックアップ** モジュールに関するすべてのコマンドを取得するには、コマンド **Get-Command -Name *GranularBackup*** を実行します。

DocAve SDK および管理シェルのアップグレード

DocAve SDK および管理シェルは、DocAve プラットフォームと一緒にアップグレードしなければなりません。アップグレード済みの DocAve SDK および管理シェルは、より多くの機能をサポートし、最適化され、改良されています。

DocAve 6 SDK のアップグレード方法の詳細については、**DocAve SDK ドキュメント** を参照してください。このドキュメントは既定で、次のパスにあります: ...¥AvePoint¥DocAve6¥Shell¥DocAveModules¥DocAveModule¥DocAveSDK.chm

DocAve 6 管理シェル のアップグレード方法の詳細については、**DocAve 6 管理シェル** の [アップグレードに関する概念トピック] を参照してください。

DocAve 管理シェル コマンドレット リファレンス

DocAve 管理シェルには、DocAve プラットフォームに基づく充実したコマンドのセットが用意されています。これらのコマンドを使用して、プランの実行、プランの削除、AD 削除済みアカウントの削除などの様々なオペレーションを実行することができます。以下のセクションでは、すべての DocAve 管理シェル コマンドレット、各コマンドレットの使用例、および各コマンドレットのパラメータについて説明します。

***注意:** すべてのコマンドレットのリストを取得するには、*Get-Help Login-DAManager* を実行します。

DocAve マネージャーにログイン

DocAve マネージャーにログインするには、以下のコマンドを実行します:

```
Login-DAManager -ControlHost <String> -ControlPort <Int32> -Credential <PSCredential> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$Credential = Get-Credential
```

```
C:¥PS>Login-DAManager -ControlHost localhost -ControlPort 14000 -Credential $credential
```

```
C:¥PS>$SecurePassword = Read-Host -AsSecureString
```

```
C:¥PS>Login-DAManager -ControlHost localhost -ControlPort 14000 -Username admin  
-Password $SecurePassword
```

```
C:¥PS>Login-DAManager -ControlHost localhost -ControlPort 14000 -Username admin  
-PlainTextPassWord admin
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ControlHost	必須	コントロール ホストのアドレスを指定します。
-ControlPort	必須	コントロール ポートを指定します。
-Credential	必須	証明書を指定します。
-Username	必須	ユーザー名を指定します。
-Password	必須	セキュリティで保護された文字列の形式でパスワードを入力します。
-PlainTextPassword	必須	プレーン テキスト文字列の形式でパスワードを指定します。

日付オブジェクトの取得

スケジュール プランに特定の日付を定義するために使用する日付オブジェクトを取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DADate [-Year] <Int32> [-Month] <Int32> [-Day] <Int32> [-TimeZoneId] <SupportedTimeZoneId> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$TimeZoneID = [DocAve.API.Common.SupportedTimeZoneId]::PacificSAStandardTime
```

```
C:¥PS>Get-DADate -Year 2012 -Month 03 -Day 20 -TimeZoneId
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Year	必須	表示される年を指定します。有効な値は 1～9999 です。
-Month	必須	表示される月を指定します。有効な値は 1～12 です。
-Day	必須	表示される日を指定します。有効な値は 1～31 です。
-TimeZoneId	必須	タイム ゾーン ID を指定します。

時間オブジェクトの取得

スケジュール プランに特定の時間を定義するために使用する時間オブジェクトを取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DADateTime [-Year] <Int32> [-Month] <Int32> [-Day] <Int32> [-Hour] <Int32> [-Minute] <Int32> [-TimeZoneId] <SupportedTimeZoneId> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$TimeZoneID = [DocAve.API.Common.SupportedTimeZoneId]::PacificSAStandardTime
```

```
C:¥PS>Get-DADateTime -Year 2012 -Month 03 -Day 20 -Hour 14 -Minute 30 -TimeZoneId $TimeZoneID
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Year	必須	表示される年を指定します。有効な値は 1～9999 です。
-Month	必須	表示される月を指定します。有効な値は 1～12 です。
-Day	必須	表示される日を指定します。有効な値は 1～31 です。
-Hour	必須	表示される時間を指定します。有効な値は 0～23 です。
-Minute	必須	表示される分を指定します。有効な値は 0～59 です。
-TimeZoneId	必須	タイム ゾーン ID を指定します。

更新の取得

DocAve マネージャーの使用可能な更新をすべて取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAUpdate [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAUpdate -Name 'HotFix_6.0.0.51008601' Name:HotFix_6.0.0.51008601
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	1 つまたは複数の更新名を指定します。複数の更新名を入力することができます (カンマで区切ります)。ワイルドカードがサポートされています。

更新の構成情報の取得

更新の全体構成情報を取得するには、次のコマンドを実行します：

```
Get-DAUpdateConfiguration [-UpdateName] <String[]> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAUpdateConfiguration -UpdateName Hotfix_6.0.0.51008601
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-UpdateName	必須	1 つまたは複数の更新名を指定します。複数の更新名を入力することができます (カンマで区切ります)。

更新のテスト

更新を行う前に、指定した更新が有効かどうかをテストするには、以下のコマンドを実行します：

```
Test-DAUpdate [-Configuration] <UpdateConfiguration> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$config = Get-DAUpdateConfiguration -UpdateName 'Hotfix_6.0.0.51008601'
C:¥PS>$config.UpdateManager = $true
C:¥PS>$config.ViewServiceForUpdate() Category:127.0.0.1 WillUpdate:True Name:Control Service Status:ACTIVE Version:6.0.0.51008601 Type:Control Message:Ready for installing.C:¥PS>$config.UpdateNonFarmRelatedAgent = $true C:¥PS>$config.UpdateFarmRelatedAgent = $true
C:¥PS>$config.UpdateSQLAgents.Add('SQL Agent')
C:¥PS>Test-DAUpdate -Configuration $config True
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Configuration	必須	更新の構成オブジェクトを指定します。

更新のインストール

更新をインストールするには、以下のコマンドを実行します：

```
Install-DAUpdate [-Configuration] <UpdateConfiguration> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
Install-DAUpdate [-Configuration] <UpdateConfiguration> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$config = Get-DAUpdateConfiguration -UpdateName 'Hotfix_6.0.0.51008601'
C:¥PS>$config.UpdateManager = $true
```

```
C:¥PS>$config.ViewServiceForUpdate()
```

```
C:¥PS>$config.UpdateNonFarmRelatedAgent = $true C:¥PS>$config.UpdateFarms.Add('Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)') C:¥PS>$config.UpdateSQLAgents.Add('SQL Agent')
```

```
C:¥PS>Install-DAUpdate -Configuration $config
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Configuration	必須	更新の構成オブジェクトを指定します。
-WhatIf	オプション	ユーザーがコマンドを実行したと仮定して、何が起こるかを説明します。ユーザーは実際にはコマンドを実行しません。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、ユーザーに確認メッセージが表示されます。

データベース暗号化キーのバックアップ

データベース暗号化キーをバックアップするには、以下のコマンドを実行します：

```
Backup-DADatabaseEncryptionKey [-Path] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

```
Backup-DADatabaseEncryptionKey [-Path] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Backup-DADatabaseEncryptionKey -Path 'C:¥backup'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	バックアップ ファイルを保存するパスを指定します。
-Overwrite	オプション	バックアップ ファイルが既に指定したパスに存在する場合は上書きします。

データベース暗号化キーのリストア

データベース暗号化キーをリストアするには、以下のコマンドを実行します：

```
Restore-DADatabaseEncryptionKey [-Path] <String> [-OutPut] <String> [-Overwrite]
[[-Passphrase] <String>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Restore-DADatabaseEncryptionKey -Path 'C:¥backup' -OutPut 'C:¥sql'
C:¥PS>Restore-DADatabaseEncryptionKey -Path 'C:¥backup' -OutPut 'C:¥sql' -Passphrase passphrase
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	バックアップ ファイルを読み込むパスを指定します。
-OutPut	必須	出力ファイルを保存するパスを指定します。
-Overwrite	オプション	出力ファイルが既に指定したパスに存在する場合は上書きします。
-Passphrase	オプション	DocAve データベース暗号化キーを暗号化するパスフレーズ値を指定します。このパラメータが使用されない場合、コマンドレットはローカル マシンからパスフレーズを読み込みます。パスフレーズはローカル マシンおよび DocAve データベースの間で一致していることを確認します。一致していない場合、DocAve システムは機能しません。

データ暗号化プロファイルのバックアップ

データベース暗号化キーをバックアップするには、以下のコマンドを実行します：

```
Backup-DADataEncryptionProfile [-Path] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Backup-DADataEncryptionProfile -Path 'C:¥backup'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	バックアップ ファイルを保存するパスを指定します。
-Overwrite	オプション	バックアップ ファイルが既に指定したパスに存在する場合は上書きします。

データ暗号化プロファイルのリストア

データベース暗号化プロファイルをリストアするには、以下のコマンドを実行します：

```
Restore-DADataEncryptionProfile [-Path] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
Restore-DADataEncryptionProfile
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	バックアップ ファイルを読み込むパスを指定します。

SharePoint の空白のセキュリティ検索設定オブジェクトの取得

SharePoint の空白のセキュリティ検索設定オブジェクトを取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DASPSBlankSecuritySearchSetting [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$setting = Get-DASPSBlankSecuritySearchSetting
```

```
C:¥PS>$setting
```

ジョブの概要情報の取得

ジョブの概要を取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DAJobSummary [-ID] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Get-DAJobSummary -ID CA20120710105416471063
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。

ジョブの詳細情報の取得

ジョブ (アイテム タイム、移動元 URL、移動先 URL など) に含まれるアイテムの詳細情報を取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DAJobDetail [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus <JobReportDetailStatus[]>]  
[-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Get-DAJobDetail -ID CM20111011115232293242
```

```
C:¥PS>Get-DAJobDetail -ID CM20111011115233293432 -JobReportDetailStatus Success,Failed -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。
-JobReportDetailStatus	オプション	詳細をフィルターする詳細の状態を指定します。有効な値は "Success"、"Failed"、および "Skipped" です。ジョブが展開マネージャー ジョブの場合、このパラメータは無視されます。
-StartIndex	オプション	詳細の開始番号を指定します。ジョブが展開マネージャー ジョブの場合、このパラメータは無視されます。
-Length	オプション	結果の詳細の総数を指定します。ジョブが展開マネージャー ジョブの場合、このパラメータは無視されます。

指定したモジュールのジョブの取得

指定したモジュールのジョブを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAJob [-ID] <String> [<CommonParameters>]
```

```
Get-DAJob [-Module] <Module> [-StartTimeRangeBeginning <DateTime>] [-StartTimeRangeEnding <DateTime>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAJob -Id CA20120710105416471063 ID:CA20120710105416471063
```

```
C:¥PS>Get-DAJob -Module Administrator ID:CA20120710105416471063
```

```
C:\PS>Get-DAJob -Module Administrator -StartTimeRangeBeginning "7/10/2012 10:10" -StartTimeRangeEnding "7/10/2012 10:58" ID:CA20120710105416471063
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。
-Module	必須	ジョブのモジュールを指定します。有効な値は "GranularBackup"、"GranularRestore"、"Administrator"、"ContentManager"、"Replicator"、"PlatformBackup"、"PlatformRestore"、"ConvertStubToContent"、"ScheduledStorageManager"、"OrphanBLOBRetention"、"DeploymentManager"、"ReportCenter"、"Archiver"、"Connector"、"ArchiverRestore"、"LogManager"、"ArchiverRetention"、"JobPruning"、および "PlatformMaintenanceManager" です。
-StartTimeRangeBeginning	オプション	ジョブの開始時間範囲の開始時間を指定します。タイプは管理言語に文化的に依存する有効な日付形式でなければなりません。例えば、English-US（米国英語）の場合、2/16/2010 12:15:12 です。時間範囲を指定しない場合、ジョブ情報はジョブの開始時間に従ってフィルターされません。
-StartTimeRangeEnding	オプション	ジョブの開始時間範囲の終了時間を指定します。タイプは管理言語に文化的に依存する有効な日付形式でなければなりません。例えば、English-US（米国英語）の場合、2/16/20

パラメータ	タイプ	説明
		10 12:15:12 です時間範囲を指定しない場合、ジョブの開始時間に従ってジョブ情報をフィルターしません。

SharePoint AD 削除済みアカウントの削除

SharePoint AD 削除済みアカウントを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DASPDeadAccount [-DeadAccount] <DeadAccount[]> [-DeleteMySite] [-DeleteUserProfiles] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DASPDeadAccount -DeadAccount $deadAccountForRemoving -DeleteMySite -DeleteUserProfiles
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-DeadAccount	必須	削除する AD 削除済みアカウントを指定します。
-DeleteMySite	オプション	個人用サイトを削除するかどうかを指定します。
-DeleteUserProfiles	オプション	ユーザー プロファイルを削除するかどうかを指定します。

情報を継承する権限の確認

指定した SharePoint オブジェクトは上位レベルから権限を継承するかどうかを確認するには、以下のコマンドを実行します：

Check-DASPIneritingPermissions [-SharePointWeb] <SharePointWeb> [<CommonParameters>]

Check-DASPIneritingPermissions [-SharePointList] <SharePointList> [<CommonParameters>]

コマンドの例:

```
C:¥PS>$web1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWeb
```

```
C:¥PS>Check-DASPIneritingPermissions -SharePointWeb $web1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-SharePointWeb	必須	SharePoint サイト オブジェクトを指定します。
-SharePointList	必須	SharePoint リスト オブジェクトを指定します。

空白のクローン SharePoint ユーザー権限設定オブジェクトの取得

空白のクローン SharePoint ユーザー権限設定オブジェクトを取得するには、以下のコマンドを実行します:

Get-DASPBlankCloneUserPermissionSetting [<CommonParameters>]

コマンドの例:

```
C:¥PS>Get-DASPBlankCloneUserPermissionSetting
```

空白のクローン SharePoint グループ権限設定オブジェクトの取得

空白のクローン SharePoint グループ権限設定オブジェクトを取得するには、以下のコマンドを実行します:

Get-DASPSBlankCloneGroupPermissionSetting [<CommonParameters>]

コマンドの例: *C:¥PS>Get-DASPSBlankCloneGroupPermissionSetting*

SharePoint ユーザー権限のクローン

指定した SharePoint ユーザー権限をグループまたはユーザーにクローンするには、以下のコマンドを実行します:

Clone-DASPSUserPermission [-Scope] <SharePointObject> [-SourceUser] <String> [-Destination] <String> [-Setting] <CloneUserPermissionSetting> [<CommonParameters>]

Clone-DASPSUserPermission [-FarmName] <String> [-SourceUser] <String> [-Destination] <String> [-Setting] <CloneUserPermissionSetting> [<CommonParameters>]

コマンドの例:

C:¥PS>\$setting = Get-DASPSBlankCloneUserPermissionSetting

C:¥PS>\$setting.PermissionOption = 'Append'

C:¥PS>\$setting.IncludeDetailedReport = \$true

C:¥PS>Clone-DASPSUserPermission -FarmName 'Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)' -SourceUser 'user1' -Destination 'user2' -Setting \$setting

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-FarmName	必須	移動元ユーザーを検索するファームを指定します。
-Scope	必須	移動元ユーザーを検索する範囲となるノードを指定します。Web アプリケーション レベルからリスト レベルまでノードを指定できますが、すべてのオブジェクトは同じレベルでなければなりません。
-SourceUser	必須	権限がクローンされる移動元アカウントとなるユーザー名

		を指定します。
-Destination	必須	権限をクローンできる移動先アカウントとなるユーザー名 またはグループ名を指定します。
-Setting	必須	ユーザー権限をクローンする設定を構成します。

スタブ データベースの構成の取得

スタブ データベースの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASubDBConfiguration [-FarmName] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$StubDBConfig = Get-DASubDBConfiguration -FarmName 'Farm(SP2010_DB:
SHAREPOINT_CONFIG)'
```

```
C:¥PS>$StubDBConfig.WebApplicationStubDBConfigurations      FarmName:Farm(SP
2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-FarmName	必須	ファーム名を指定します。

スタブ データベースの構成

ファーム、Web アプリケーション、またはコンテンツ データベースのスタブ データベースを構成するには、以下のコマンドを実行します：

```
Configure-DASubDB [-Configuration] <StubDBConfiguration> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$StubDBConfig = Get-DASubDBConfiguration -FarmName C:¥PS>$ContentDB
1.ConfigureAsWindowsAuthentication
```

```
C:¥PS>Configure-DASubDB -Configuration $ContentDB10001
```

```
C:¥PS>$ContentDB2 = $StubDBConfig.GetContentDBLevelStubDBConfigurationById
```

```
C:¥PS>$password = Read-Host AsSecureString C:¥PS>$ContentDB2.ConfigureAsSQL
AuthenticationC:¥PS>Configure-DASubDB -Configuration $ContentDB2
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Configuration	必須	スタブ データベース構成を指定します。ファーム レベルのスタブ データベース構成、Web アプリケーションのスタブ データベース構成およびコンテンツ データベースのスタブ データベース構成を指定することができます。

ジョブ レポートのダウンロード

ジョブ レポートをダウンロードするには、以下のコマンドを実行します：

```
Download-DAJobReport [-ID] <String> [-Format <JobReportFormat>] -Path <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Download-DAJobReport -ID FB20120627174730343482 -Path 'C:¥Report.zip'-  
Format txt -Overwrite
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。
-Format	オプション	レポートの形式を指定します。有効な値は “XLS”、 “CSV”、および “TXT” です。ジョブがログ マネージャー ジョブの場合、このパラメータは無視されます。
-Path	必須	レポート ファイルのパスを指定します。
-Overwrite	オプション	コマンドレットは既存のファイルを上書きすることができます。

空白のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得

空白のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールを取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DARuntimeStorageManagerBlankRule [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$rule = Get-DARuntimeStorageManagerBlankRule
```

```
C:¥PS>$rule
```

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取得

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの構成を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DARuntimeStorageManagerRule [-Name <String>] [<CommonParameters>]
```

```
Get-DARuntimeStorageManagerRule [-SPContentDB <SharePointContentDB>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:\PS>Get-DARuntimeStorageManagerRule
```

```
C:\PS>Get-DARuntimeStorageManagerRule -Name 'rule2'
```

```
C:\PS>$db = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointContentDB 'Farm(SP2010_D  
B:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10001/', 'wss_content_10001'
```

```
C:\PS>Get-DARuntimeStorageManagerRule -SPContentDB
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	構成が取得されるリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの名前を指定します。
-SPContentDB	オプション	SharePoint コンテンツ データベースを指定します。この指定したデータベースに適用されているリアルタイム ストレージ マネージャー ルールがすべて取得されます。
-SPWebApplication	オプション	SharePoint Web アプリケーションを指定します。この指定した Web アプリケーションに適用されているリアルタイム ストレージ マネージャー ルールがすべて取得されます。
-SPSite	オプション	SharePoint サイト コレクションを指定します。この指定したサイト コレクションに適用されているリアルタ

		イム ストレージ マネージャー ルールがすべて取得されます。
--	--	--------------------------------

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの作成

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールを作成するには、以下のコマンドを実行します:

```
New-DAREaltimeStorageManagerRule [-Rule] <RealtimeStorageManagerRule> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$rule = Get-DAREaltimeStorageManagerBlankRule
C:¥PS>$rule.
C:¥PS>$rule.SizeThreshold = '768kb' C:¥PS>$rule.LogicalDeviceName = 'logical device1'
C:¥PS>$rule.CompressionLevel = 'level3' C:¥PS>$rule.EnableDataEncryption('MyProfile')
C:¥PS>New-DAREaltimeStorageManagerRule $rule
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Rule (または \$rule)	必須	新しいリアルタイム ストレージ マネージャー ルールを作成できるリアルタイム ストレージ マネージャー ルール オブジェクトを指定します。

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの取り消し

指定した SharePoint コンテンツ データベース、Web アプリケーション、またはサイト コレクションから既存のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールを取り消すには、以下のコマンドを実行します:

```
Retract-DAREaltimeStorageManagerRule [-RuleName] <String> [-SPContentDB] <SharePointContentDB> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$db = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointContentDB 'Farm(SP2010_D
B:SHAREPOINT_CONFIG)','http://SharePoint2010:10001/', 'wss_content_10001' C:¥P
S>Retract-DARealtimeStorageManagerRule -RuleName 'rule1' -SPContentDB $db
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-RuleName	必須	指定した SharePoint コンテンツ データベースから 取り消すリアルタイム ストレージ マネージャー ルール の名前を指定します。
-SPContentDB	必須	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルール が取り消される SharePoint コンテンツ データベー スを指定します。
-SPWebApplication	オプション	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルール が取り消される SharePoint Web アプリケーション を指定します。
-SPSite	オプション	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルール が取り消される SharePoint サイト コレクションを指 定します。

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの再利用

既存のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールを再利用するには、以下のコマンドを実行します：

```
Reuse-DARealtimeStorageManagerRule [-RuleName] <String> [-SPContentDB] <Shar
ePointContentDB> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$db = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointContentDB 'Farm(SP2010_D
B:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10001/', 'wss_content_10001' C:¥P
S>Reuse-DARealtimeStorageManagerRule -RuleName 'rule1' -SPContentDB $db
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-RuleName	必須	再利用するリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの名前を指定します。
-SPContentDB	必須	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルールが適用される SharePoint コンテンツ データベースを指定します。
-SPWebApplication	オプション	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルールが適用される SharePoint Web アプリケーションを指定します。
-SPSite	オプション	指定したリアルタイム ストレージ マネージャー ルールが適用される SharePoint サイト コレクションを指定します。

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの削除

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DASRealtimeStorageManagerRule [-Name] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DASRealtimeStorageManagerRule -Name 'rule1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除するリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの名前を指定します。

アーカイバ インデックス データ情報の取得

正常にインデックスされていないアーカイバ データの情報を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAArchiverIndexDataInfo [-FarmName] <String> [-OutPut] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAArchiverIndexDataInfo -FarmName FarmA -OutPut  
C:¥IndexInfo.xls
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-FarmName	必須	アーカイバ データのインデックス情報が取得されるファーム

		ムの名前を指定します。
-OutPut	必須	出力ファイルを保存するパスを指定します。
-Overwrite	オプション	ファイルが既に指定したパスに存在する場合は上書きします。

バックアップのアーカイバ ジョブの詳細情報の取得

バックアップのアーカイバ ジョブの詳細情報を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAArchiverJobDetailForBackup [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus <JobReportDetailStatus[]>] [-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAArchiverJobDetailForBackup -ID AR20120710135406923230S  
C:¥PS>Get-DAArchiverJobDetailForBackup -ID AR20120710135406923230S -JobReportDetailStatus Success,Failed -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。
-JobReportDetailStatus	オプション	詳細をフィルターする詳細の状態を指定します。有効な値は “Success”、“Failed”、および “Skipped” です。
-StartIndex	オプション	取得する詳細の開始番号を指定します。
-Length	オプション	結果の詳細の総数を指定します。

削除のアーカイバ ジョブの詳細情報の取得

削除のアーカイバ ジョブの詳細情報を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAArchiverJobDetailForDeletion [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus <JobReportDetailStatus[]>] [-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAArchiverJobDetailForDeletion -ID AR20120710135406923230S
C:¥PS>Get-DAArchiverJobDetailForDeletion -ID AR20120710135406923230S -JobReportDetailStatus Success,Failed -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	ジョブ ID を指定します。
	オプション	詳細をフィルターする詳細の状態を指定します。有効な値は “Success”、“Failed”、および “Skipped” です。
-StartIndex	オプション	取得する詳細の開始番号を指定します。
-Length	オプション	結果の詳細の総数を指定します。

フルテキスト インデックス ジョブの実行

フルテキスト インデックス ジョブを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAArchiverIndexJob -JobId <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAArchiverIndexJob -JobId AI20120710135406923230
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-JobId	必須	アーカイバ インデックス ジョブ ID を指定します。

SharePoint データのアーカイブ

指定した SharePoint データをアーカイブするには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAArchiverJob [-SPObject] <SharePointObject> [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$site1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointSite
```

```
C:¥PS>Run-DAArchiverJob -SPObject $site1 ID:AR20120710135406923230S
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-SPObject	必須	SharePoint オブジェクトがアーカイブされます。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

空白のコンテンツ マネージャーのオンライン プランの取得

空白のコンテンツ マネージャーのオンライン プランを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAContentManagerBlankOnlinePlan [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAContentManagerBlankOnlinePlan
```

オンライン コンテンツ マネージャー プランの構成詳細の取得

オンライン コンテンツ マネージャー プランの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAContentManagerOnlinePlan [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAContentManagerOnlinePlan plan1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	取得する既存のオンライン コンテンツ マネージャー プランの名前を指定します。ワイルドカードおよび複数の値を入力することができます。カンマで区切って入力します。ここで値が入力されなければ、既存のオンライン コンテンツ マネージャー プランのプラン設定がすべて取得されます。

オンライン コンテンツ マネージャー プランの作成

オンライン コンテンツ マネージャー プランを作成するには、以下のコマンドを実行します：

```
New-DAContentManagerOnlinePlan [-Plan] <ContentManagerOnlinePlan> [<Common  
Parameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$plan = Get-DAContentManagerBlankOnlinePlan
```

```
C:¥PS>$plan.SourceFarmName = 'Farm(SP2010_DB1:SHAREPOINT_CONFIG)' C:¥PS  
>$plan.DestinationFarmName = 'Farm(SP2010_DB2:SHAREPOINT_CONFIG)'
```

```
C:¥PS>$plan.Name = 'plan1'
```

```
C:¥PS>$webapplication1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWebApplicatio  
n($plan.SourceFarmName, 'http://SharePoint2010:10001') C:¥PS>$webapplication2
```

```
= New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWebApplication($plan.DestinationFarmName, 'http://SharePoint2010:10002') C:¥PS>$plan.SourceTree.IncludeSPObject($webapplication1) C:¥PS>$plan.DestinationTree.SelectSPObject($webapplication2)
C:¥PS>$plan.Action = 'Merge'
C:¥PS>New-DAContentManagerOnlinePlan $plan
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Plan (または \$myPlan)	必須	オンライン コンテンツ マネージャー プラン オブジェクトを指定します。

コンテンツ マネージャーのエクスポート プランの実行

既存のコンテンツ マネージャーのエクスポート プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAContentManagerExportJob [-PlanName] <String> [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAContentManagerExportJob -PlanName 'plan1' -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のコンテンツ マネージャーのエクスポート プランの名前を指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

コンテンツ マネージャーのインポート プランの実行

既存のコンテンツ マネージャーのインポート プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAContentManagerImportJob [-PlanName] <String> [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAContentManagerImportJob -PlanName 'plan1' -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のコンテンツ マネージャーのインポートプランの名前を指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

コンテンツ マネージャーのコピー プランの実行

既存のコンテンツ マネージャーのコピー プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAContentManagerCopyJob [-PlanName] <String> [-TestRun] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAContentManagerCopyJob -PlanName 'plan1' -TestRun -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のコンテンツ マネージャーのコピー プランの名前を指定します。
-TestRun	オプション	選択したプランの実行をシミュレーションするかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョ

パラメータ	タイプ	説明
		ブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

コンテンツ マネージャーの移動プランの実行

既存のコンテンツ マネージャーの移動プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAContentManagerMoveJob [-PlanName] <String> [-TestRun] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAContentManagerMoveJob -PlanName 'plan1' -TestRun -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行するコンテンツ マネージャーの移動プランの名前を指定します。
-TestRun	オプション	選択したプランの実行をシミュレーションするかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

コンテンツ マネージャーのオンライン プランの削除

コンテンツ マネージャーのオンライン プランを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DAContentManagerOnlinePlan [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DAContentManagerOnlinePlan -Name 'plan1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除するオンライン コンテンツ マネージャー プランの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	実際にコマンドを実行せずに、コマンドを実行したと仮定して何が起こるかを説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示されます。

展開マネージャー プランの実行

既存の展開マネージャー プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DADeploymentManagerJob [-PlanName] <String> [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DADeploymentManagerJob -PlanName 'plan1' -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存の展開マネージャー プランの名前を指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

空白の最小単位バックアップの空白のプランの取得

空白の最小単位バックアップの空白のプランを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAGranularBackupBlankPlan [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAGranularBackupBlankPlan
```

最小単位バックアップ プランの構成詳細の取得

既存の最小単位バックアップ プランを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAGranularBackupPlan [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAGranularBackupPlan -Name 'plan1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	1 つまたは複数のプラン名を指定します。複数のプラン名を入力することができます (カンマで区切ります)。ワイルドカードがサポートされています。

最小単位バックアップ プランの作成

最小単位バックアップ プランを作成するには、以下のコマンドを実行します：

```
New-DAGranularBackupPlan [-Plan] <GranularBackupPlan> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$plan = Get-DAGranularBackupBlankPlan
```

```
C:¥PS>$plan.Name = 'plan1'
```

```
C:¥PS>$plan.Description = 'description'
```

```
C:¥PS>$plan.StoragePolicyName = 'storage policy1'
```

```
C:¥PS>$plan.AgentGroupName = "DEFAULT_AGENT_GROUP_FOR_Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)"
```

```
C:¥PS>
```

```
C:¥PS>$site1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointSite ('Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10001/sites/site1') C:¥PS>$plan.Tree.IncludeSPOObject($site1)
```

C:¥PS>

C:¥PS>New-DAGranularBackupPlan -Plan \$plan

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Plan	必須	最小単位バックアップ プラン オブジェクトを指定します。

最小単位バックアップ プランの実行

既存の最小単位バックアップ プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAGranularBackupJob [-PlanName] <String> -BackupJobType <RunGranularBackupPlanType> -JobReportType <String> [-TestRun] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAGranularBackupJob -PlanName 'plan1' -BackupJobType full -JobReportType Detailed -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存の最小単位バックアップ プランの名前を指定します。
-BackupJobType	必須	バックアップのタイプを指定します。有効な値は “Full”、 “Incremental”、 および “Differential” です。
-JobReportType	-JobReportType	ジョブ レポートのレベルを指定します。有効な値は “Simplified” および “Detailed” です。

-TestRun	オプション	選択したプランの実行をシミュレーションするかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

最小単位バックアップ プランの削除

最小単位バックアップ プランを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DAGranularBackupPlan [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DAGranularBackupPlan -Name 'plan1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除されるプランの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	コマンドを実行したと仮定して、何が起こるかを説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示されます。

プラットフォーム バックアップ プランの実行

既存のプラットフォーム バックアップ プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAPlatformBackupJob [-PlanName] <String> -BackupType <PRBackupType> [-CopyDataFromSnapshotToMediaServer] [-DeferCopyingDataFromPersistentSnapshot] [-DeferGeneratingInstaMountMapping] -RestoreGranularityLevel <PlatformRestoreGranularityLevel> [-DeferGenerationGranularRestoreIndex] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAPlatformBackupJob -PlanName 'plan1' -BackupType Full -RestoreGranularityLevel ItemLevel
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のプラットフォーム バックアップ プランの名前を指定します。
-BackupType	必須	バックアップのタイプを指定します。有効な値は “Full”、“Incremental”、および “Differential” です。
-CopyDataFromSnapshotToMediaServer	オプション	スナップショットからメディア サーバーにデータをコピーするかどうかを指定します。
-DeferCopyingDataFromPersistentSnapshot	オプション	連続スナップショットからコピー データを延期するかどうかを指定します。
-DeferGeneratingInstaMountMapping	オプション	InstaMount マッピングの作成を延期するかどうかを指定します。
-RestoreGranularityLevel	必須	リストア粒度レベルを指定します。有効な値は “Site

vel		CollectionLevel”、“SiteLevel”、“FolderLevel”、“ItemLevel”、“ItemVersionLevel”、および”None”です。
-DeferGenerationGranularRestoreIndex	オプション	最小単位リストア インデックスの生成を延期するかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

レプリケーターのエクスポート プランの実行

既存のレプリケーターのエクスポート プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAREplicatorExportJob [-PlanName] <String> -ReplicatorRunLevel <ReplicatorRunLevel> [-ReplicateModifications] [-ReplicateDeletions] [-SpecialReferenceTime <String>] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DAREplicatorExportJob -PlanName 'plan1' -ReplicatorRunLevel Full -WaitForJobComplete
```

```
C:¥PS>Run-DAREplicatorExportJob -PlanName 'plan2' -ReplicatorRunLevel Incremental -ReplicateModifications -ReplicateDeletions -SpecialReferenceTime 11m
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行するレプリケーターのエクスポート プランの名前を

		指定します。
-ReplicatorRunLevel	必須	ジョブのレベルを指定します。有効な値は “Full” および “Incremental” です。
-ReplicateModifications	オプション	更新をレプリケートするかどうかを指定します。 パラメータ 'ReplicatorRunLevel' の値が 'Incremental' の場合を除き、このパラメータを指定することはできません。
-ReplicateDeletions	オプション	削除をレプリケートするかどうかを指定します。 パラメータ 'ReplicatorRunLevel' の値が 'Incremental' の場合を除き、このパラメータを指定することができません。
-SpecialReferenceTime	オプション	参照時間を指定します。ジョブはジョブの開始時刻の前に指定した期間内に作成または編集されたコンテンツをレプリケートします。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

レプリケーターのインポート プランの実行

既存のレプリケーターのインポート プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DAREplicatorImportJob [-PlanName] <String> [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Run-DAREplicatorImportJob -PlanName 'plan1' -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のレプリケーターのインポート プランの名前を指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

管理シェルでオンライン レプリケーター プランの実行

既存のオンライン レプリケーター プランを実行するには、以下のコマンドを実行します:

```
Run-DAREplicatorOnlineJob [-PlanName] <String> -ReplicatorRunLevel <ReplicatorRunLevel> [-ReplicateModifications] [-ReplicateDeletions] [-SpecialReferenceTime <String>] [-TestRun] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Run-DAREplicatorOnlineJob -PlanName 'plan1' -ReplicatorRunLevel Full -WaitForJobComplete -TestRun
```

```
C:¥PS>Run-DAREplicatorOnlineJob -PlanName 'plan2' -ReplicatorRunLevel Incremental -ReplicateModifications -ReplicateDeletions -TestRun
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存のレプリケーター プランの名前を実行します。
-ReplicatorRunLevel	必須	ジョブのレベルを指定します。有効な値は “Full” および “Incremental” です。
-ReplicateModifications	オプション	更新をレプリケートするかどうかを指定します。 パラメータ 'ReplicatorRunLevel' の値が 'Incremental' の場合を除き、このパラメータを指定することはできません。
-ReplicateDeletions	オプション	削除をレプリケートするかどうかを指定します。 パラメータ 'ReplicatorRunLevel' の値が 'Incremental' の場合を除き、このパラメータを指定することはできません。
-SpecialReferenceTime	オプション	参照時間を指定します。ジョブはジョブの開始時刻の前に指定した期間内に作成または編集されたコンテンツをレプリケートします。
-TestRun	オプション	選択したプランの実行をシミュレーションするかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

空白の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの取得

空白の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASP07To10MigrationBlankOnlinePlan [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$plan = Get-DASP07To10MigrationBlankOnlinePlan
```

```
C:¥PS>$plan
```

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの取得

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASP07To10MigrationOnlinePlan [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationOnlinePlan -Name 'plan1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	取得する既存の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの名前を指定します。ワイルドカードおよび複数の値を入力することができます。カンマで区切って入力します。ここで値が入力されなければ、既存の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの情報がすべて取得されます。

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのセキュリティ詳細の取得

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのセキュリティ詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASP07To10MigrationJobSecurityDetail [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus  
<JobReportDetailStatus[]>] [-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<CommonPar  
ameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobSecurityDetail -ID MD20120601151648823941  
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobSecurityDetail -ID MD20120601151648823941-J  
obReportDetailStatus Success -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	オブジェクトの詳細なセキュリティ構成情報を取得するジョブ ID を指定します。
-JobReportDetailStatus	オプション	表示される移行済みオブジェクトのセキュリティ構成をフィルターするために使用される移行済みオブジェクトのジョブ状態を指定します。有効な値は "Success"、"Failed"、"Skipped"、および "Filtered" です。
-StartIndex	オプション	開始番号を指定します。セキュリティ構成は指定したオブジェクトの数から表示されます。そのオブジェクトのジョブ状態は、パラメータ "JobReportDetailStatus" に指定されている値です。
-Length	オプション	表示されるオブジェクトのセキュリティ構成の程度を指定します。

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブの構成詳細の取得

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASP07To10MigrationJobConfigurationDetail [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus <JobReportDetailStatus[]>] [-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<Common Parameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobConfigurationDetail -ID MD20120601151648823941
```

```
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobConfigurationDetail -ID MD20120601151648823941 -JobReportDetailStatus Success -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	詳細なジョブ情報を取得するジョブ ID を指定します。
-JobReportDetailStatus	オプション	表示される移行済みオブジェクトのジョブ詳細をフィルターするために使用される移行済みオブジェクトのジョブ状態を指定します。有効な値は "Success"、"Failed"、"Skipped"、および "Filtered" です。
-StartIndex	オプション	開始番号を指定します。セキュリティ構成は指定したオブジェクトの番号から表示されます。そのオブジェクトのジョブ状態は、パラメータ "JobReportDetailStatus" に指定されている値です。
-Length	オプション	表示されるオブジェクトのジョブ詳細の程度を指定します。

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのオブジェクト詳細の取得

SharePoint 2007 to 2010 移行ジョブのオブジェクト詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DASP07To10MigrationJobObjectsDetail [-ID] <String> [-JobReportDetailStatus <JobReportDetailStatus[]>] [-StartIndex <Int32>] [-Length <Int32>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobObjectsDetail -ID MD20120601151648823941
C:¥PS>Get-DASP07To10MigrationJobObjectsDetail -ID MD20120601151648823941-J
obReportDetailStatus Success -StartIndex 0 -Length 1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-ID	必須	オブジェクト詳細を取得するジョブ ID を指定します。
-JobReportDetailStatus	オプション	表示される移行済みオブジェクトの詳細情報をフィルターするために使用される移行済みオブジェクトのジョブ状態を指定します。有効な値は "Success"、"Failed"、"Skipped"、および "Filtered" です。
-StartIndex	オプション	開始番号を指定します。オブジェクト詳細は、指定した数のオブジェクトから表示されます。そのオブジェクトのジョブ状態はパラメータ "JobReportDetailStatus" です。
-Length	オプション	表示されるオブジェクトのセキュリティ構成の程度を指定します。

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの作成

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランを作成するには、以下のコマンドを実行します:

```
New-DASP07To10MigrationOnlinePlan [-Plan] <SP07To10MigrationOnlinePlan> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$plan = Get-DASP07To10MigrationBlankOnlinePlan C:¥PS>$plan.Name = 'plan1' C:¥PS>$plan.Description = 'Description'
C:¥PS>$plan.SourceFarmName = 'Farm(SP2007_DB:SHAREPOINT_CONFIG)' C:¥PS>$plan.DestinationFarmName = 'Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)' C:¥PS>$plan.SourceAgentGroup = 'AgentGroup07'
C:¥PS>$plan.DestinationAgentGroup = 'AgentGroup10'
C:¥PS>$plan.ProfileName = 'Default Profile'
C:¥PS>$list07 = New-Object DocAve.API.Objects.Sharepointlist('Farm(SP2007_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2007:10001/sites/site1','sites/site1', 'list1') C:¥PS>$plan.SourceTree.IncludeSPList($list07, $true, $false)
C:¥PS>$list10 = New-Object DocAve.API.Objects.Sharepointlist('Farm(SP2007_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2007:10001/sites/site1','sites/site1', 'list1') C:¥PS>$plan.DestinationTree.SelectSPObject($list10)
C:¥PS>$plan.Action = 'Merge' C:¥PS>$plan.AssociatedPlanGroup.Add('plan group1')
C:¥PS>New-DASP07To10MigrationOnlinePlan $plan
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Plan (または \$myPlan)	必須	SharePoint 2007 to 2010 移行オンライン プラン オブジェクトを指定します。

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの実行

既存の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランを実行するには、以下のコマンドを実行します：

```
Run-DASP07To10MigrationOnlineJob [-PlanName] <String> -Options <String> [-IncrementalType <String>] -ConflictResolution <SP07To10MigrationConflictResolution> -JobReportType <String> [-Description <String>] [-TestRun] [-WaitForJobComplete] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Run-DASP07To10MigrationOnlineJob -PlanName 'plan1' -Options Full -ConflictResolution Skip -JobReportType Detailed -Description description -WaitForJobComplete
```

```
C:¥PS>Run-DASP07To10MigrationOnlineJob -PlanName 'plan1' -Options Full -ConflictResolution Skip -JobReportType Detailed -Description description -WaitForJobComplete
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PlanName	必須	実行する既存の SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの名前を指定します。オンライン移行プランの名前を指定します。
-Options	必須	選択した移行プランの完全ジョブを実行するか、または増分ジョブを実行するかを指定します。有効な値は “Full” および “Incremental” です。
-IncrementalType	オプション	増分移行ジョブに使用されるスケジュールを指定します。*分間 *時間 *日間 *週間 *ヶ月間の形式でパラメータを入力します。* は時間単位の後に指定する 1 ～ 2147483647 の間の任意の数字で

パラメータ	タイプ	説明
		す。パラメータ 'Options' の値が 'Incremental' の場合を除き、このパラメータを指定することはできません。
-ConflictResolution	必須	移行中に発生した競合を処理する競合解決を指定します。有効な値は “Skip”、“SkipAndSkip”、“SkipAndOverwrite”、“SkipAndAppend”、“MergeAndSkip”、“MergeAndOverwrite”、および “MergeAndAppend” です。 これらの各値の詳細情報については、この表の下 の注意を参照してください。
-JobReportType	オプション	ジョブ レポートのレベルを指定します。有効な値は “Simplified” および “Detailed” です。
-Description	オプション	実行する SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの説明を指定します。
-TestRun	オプション	選択したプランの実行をシミュレーションするかどうかを指定します。
-WaitForJobComplete	オプション	ジョブの完了を待つかどうかを指定します。ジョブの完了を待つ場合、ジョブ プロセスが表示され、このジョブが完了するまで別のジョブを実行できません。ジョブの完了を待たない場合、ジョブがバックグラウンドで実行されて、このジョブの完了を待たずに別のジョブを実行できます。

***注意：** 以下の説明は、**-ConflictResolution** パラメータの値に関するものです。

- **スキップ** — 競合が発生する場合、移行ジョブに競合したコンテナをスキップします。

- **SkipAndSkip** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナおよびすべての下位レベル オブジェクトをスキップします。
- **SkipAndOverwrite** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナをスキップし、すべての下位レベル オブジェクトを上書きします。
- **SkipAndAppend** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナをスキップし、すべての下位レベル オブジェクトを追加します。
- **MergeAndSkip** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナをマージし、すべての下位レベル オブジェクトをスキップします。
- **MergeAndOverwrite** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナをマージし、すべての下位レベル オブジェクトを上書きします。
- **MergeAndAppend** — 競合が発生した場合は、移行ジョブに競合したコンテナをマージし、すべての下位レベル オブジェクトを追加します。

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの削除

SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DASP07To10MigrationOnlinePlan [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DASP07To10MigrationOnlinePlan -Name 'plan1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除する SharePoint 2007 to 2010 オンライン移行プランの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	コマンドを実行したと仮定して、何が起こるかを説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示され

		ます。
--	--	-----

すべての BLOB プロバイダ バイナリに関する情報の取得

すべての BLOB プロバイダ バイナリに関する情報を取得するには、以下の情報を実行します：

```
Get-DABLOBProviderBinariesInfo [[-FarmName] <String>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DABLOBProviderBinariesInfo -FarmName 'Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT
_CONFIG)'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-FarmName	オプション	ファーム名を指定します。パラメータの値を設定しない場合は、ファームの BLOB プロバイダ バイナリの情報がすべて返されます。

BLOB プロバイダ の構成詳細の取得

BLOB プロバイダの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DABLOBProviderConfiguration [-FarmName] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$BLOB = Get-DABLOBProviderConfiguration -FarmName'Farm(SP2010_DB:SH
AREPOINT_CONFIG)' C:¥PS>$BLOB.WebApplicationRBSConfigurations
C:¥PS> $BLOB.ContentDBRBSConfigurations FarmName:Farm(SP2010_DB:SHAREPOI
NT_CONFIG)
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-------	-----	----

-FarmName	必須	ファーム名を指定します。
-----------	----	--------------

BLOB プロバイダ設定の更新

BLOB プロバイダ設定を更新するには、以下のコマンドを実行します：

```
Save-DABLOBProviderConfiguration [-Configuration] <BLOBProviderConfiguration> [-RunNow] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$BLOB = Get-DABLOBProviderConfiguration -FarmName '
C:¥PS>$ContentDB1 = $BLOB.GetContentDBLevelRBSSConfigurationByName
C:¥PS>$ContentDB1.RBSEnabled = $true
C:¥PS>$ContentDB2 = $BLOB.GetContentDBLevelRBSSConfigurationById           C:
¥PS>$ContentDB2.RBSEnabled = $true
C:¥PS>$ContentDB1
C:¥PS>$ContentDB2
C:¥>Save-DABLOBProviderConfiguration -Configuration $BLOB
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Configuration	必須	BLOB プロバイダ構成のインスタンスを指定します。
-RunNow	オプション	構成を保存した後にすぐに実行するかどうかを指定します。

新しいユーザーの作成

新しいユーザーを作成するには、以下のコマンドを実行します：

```
New-DAUser [-User] <UserBase> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$user = Get-DABlankLocalUser
C:¥PS>$user.Name = 'user1'
C:¥PS>$user.Email = 'user1@example.com'
C:¥PS>$user.Password = Read-Host -AsSecureString
C:¥PS>$user.Description = 'This is a Local User'
C:¥PS>$user.Groups.Add('group1')
C:¥PS>New-DAUser $user
C:¥PS>$user = Get-DABlankActiveDirectoryUser
C:¥PS>$user.Name = 'example.com¥user1'
C:¥PS>$user.Groups.Add('group1')
C:¥PS>New-DAUser $user
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-User	必須	新しいユーザーを作成するには、ユーザ オブジェクトを指定します。ユーザーの構造と属性の詳細については、 DocAve SDK ドキュメント を参照してください。

AD 削除済みアカウントのスキャン

指定した範囲内に AD 削除済みアカウントをスキャンするには、以下のコマンドを実行します：

```
Scan-DASPDeadAccount [-Scope] <SharePointObject[]> [<CommonParameters>]
```

```
Scan-DASPDeadAccount [-FarmName] <String> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$site1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointSite ('Farm(SP2010_DB:S  
HAREPOINT_CONFIG)','http://SharePoint2010:10001/sites/site1')
```

```
C:¥PS>$site2 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointSite ('Farm(SP2010_DB:S  
HAREPOINT_CONFIG)','http://SharePoint2010:10001/sites/site2')
```

```
C:¥PS>$result = Scan-DASPDeadAccount -Scope $site1,$site2
```

```
C:¥PS>$result | fl
```

```
C:¥PS>$result = Scan-DASPDeadAccount -FarmName 'Farm(SP2010_DB:SHAREPOIN  
T_CONFIG)' C:¥PS>$result | fl
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Scope	必須	AD 削除済みアカウントをスキャンするオブジェクトとして、Web アプリケーション、サイト コレクション、またはサイトを指定します。指定するオブジェクトは同じレベルでなければなりません。
-FarmName	必須	ファーム名を指定します。

特定の権限を持つユーザーまたはグループの検索

特定の権限を持つ SharePoint ユーザーまたはグループを検索するには、以下のコマンドを実行します：

```
Search-DASPPermission [-Scope] <SharePointObject[]> [-Setting] <SecuritySearchSe  
tting> [<CommonParameters>]
```

*Search-DASPPermission [-FarmName] <String> [-Setting] <SecuritySearchSetting> [
<CommonParameters>]*

コマンドの例:

```
C:¥PS>$setting = Get-DASPBlankSecuritySearchSetting
C:¥PS>$setting.UserAndGroup.Add
C:¥PS>$webapplication1 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWebApplication
C:¥PS>$webapplication2 = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWebApplication('Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10002')
C:¥PS>Search-DASPPermission -Scope $webapplication1,$webapplication2 -Setting $setting
C:¥PS>$setting = Get-DASPBlankSecuritySearchSetting C:¥PS>$setting.IncludeSharePointUsersAndGroupsWithNoPermissions = $true C:¥PS>$setting.LimitedPermissions = 'FullControl'
C:¥PS>$setting.OnlySearchForExplicitPermissions = $true
C:¥PS>$setting.PermissionPolicy = 'ExactPermissionOrBetter' C:¥PS>Search-DASPPermission -FarmName 'Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)' -Setting $setting
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Scope	必須	検索するノードを選択して範囲を指定します。
-Setting	必須	セキュリティ検索設定を指定します。
-FarmName	必須	ファーム名を指定します。

空白のローカル ユーザーの取得

空白のローカル ユーザーを取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DABlankLocalUser [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Get-DABlackLocalUser
```

ローカル ユーザーの情報の取得

ローカル ユーザーの情報を取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DALocalUser [-Name] <String[]> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Get-DALocalUser -Name: user1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	取得するローカル ユーザーの名前を指定します。ワイルドカードおよび複数の値を入力することができます。カンマで区切って入力します。値を入力しない場合、すべてのローカル ユーザーが取得されます。

ローカル ユーザーの削除

ローカル ユーザーを削除するには、以下のコマンドを実行します:

```
Remove-DALocalUser [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Remove-DALocalUser -Name 'user1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-------	-----	----

-Name	必須	削除するローカル ユーザーの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	コマンドを実行したと仮定して、何が起こるかを説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示されます。

空白の Active Directory ユーザーの取得

Active Directory ユーザーを取得するには、以下のコマンドを実行します:

Get-DABlankActiveDirectoryUser [<CommonParameters>]

コマンドの例:

C:¥PS>Get-DABlankActiveDirectoryUser

Active Directory の情報の取得

Active Directory ユーザーの情報を取得するには、以下のコマンドを実行します:

```
Get-DAActiveDirectoryUser [-Name] <String[]> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$user = Get-DAActiveDirectoryUser
```

```
C:¥PS>$user Name: example.com¥user1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	取得する Active Directory ユーザーの名前を指定します。ワイルドカードおよび複数の値を入力することができます。カンマで区切って入力します。値を入力しない場合、既存の Active Directory ユーザーがすべて取得されます。

Active Directory ユーザーの削除

Active Directory ユーザーを削除するには、以下のコマンドを実行します:

```
Remove-DAActiveDirectoryUser [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Remove-DAActiveDirectoryUser -Name 'example.com¥user1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-------	-----	----

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除する Active Directory ユーザーの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	コマンドを実行したと仮定して、何が起こるかを説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示されます。

Active Directory グループの情報の取得

指定した Active Directory グループの情報を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAActiveDirectoryGroup [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$user = Get-DAActiveDirectoryGroup
```

```
C:¥PS>$user Name: example.com¥group1
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	取得する Active Directory グループの名前を指定します。ワイルドカードおよび複数の値を入力することができます。カンマで区切って入力します。値を入力しない場合、既存の Active Directory グループがすべて取得されます。

空白の Active Directory グループの取得

空白の Active Directory グループを取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DABlackActiveDirectoryGroup [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$user = Get-DABlackActiveDirectoryGroup
```

```
C:¥PS>$user
```

Active Directory グループの削除

Active Directory グループを削除するには、以下のコマンドを実行します：

```
Remove-DAActiveDirectoryGroup [-Name] <String> [-WhatIf] [-Confirm] [<Common  
Parameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Remove-DAActiveDirectoryGroup -Name 'example.com¥group1'
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	必須	削除する Active Directory グループの名前を指定します。
-WhatIf	オプション	実際にコマンドを実行せずにコマンドを実行する場合、何が起こるかについて説明します。
-Confirm	オプション	コマンドを実行する前に、確認メッセージが表示されます。

アーカイバ データのインデックス情報の設定

正常にインデックスされていないアーカイバ データのインデックス情報を設定するには、以下のコマンドを実行します:

```
Set-DAArchiverIndexDataInfo [-Path] <String> [-OutPut] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Set-DAArchiverIndexDataInfo -Path
```

```
C:¥IndexInfo.xls -OutPut
```

```
C:¥Result .xls
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	アーカイバ データのインデックス情報を保存するファイルを読み込むパスを指定します。
-OutPut	必須	出力ファイルを保存するパスを指定します。
-Overwrite	オプション	ファイルが既に指定したパスに存在する場合は上書きします。

FipsAlgorithmPolicy の状態の設定

指定した FipsAlgorithmPolicy の状態を設定するには、以下のコマンドを実行します:

```
Set-DAFipsAlgorithmPolicy [[-Disabled]] [<CommonParameters>]
```

```
Set-DAFipsAlgorithmPolicy [[-Enabled]] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>Set-DAFipsAlgorithmPolicy -Enabled
```

```
C:¥PS>Set-DAFipsAlgorithmPolicy -Disabled
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Disabled	オプション	FipsAlogrithmPolicy を無効にします。
-Enabled	オプション	FipsAlogrithmPolicy を有効にします。

パスフレーズの設定

パスフレーズの新しい値を設定するには、以下のコマンドを実行します:

```
Set-DAPassPhrase [-PassPhrase] <SecureString> [-ConfirmPassPhrase] <SecureString> [<CommonParameters>]
```

```
Set-DAPassPhrase [-PassPhrase] <SecureString> [-LocalServerOnly] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$passphrase = ConvertTo-SecureString 'PassPhrase' -AsPlainText -Force
C:¥PS>$ConfirmPassPhrase = ConvertTo-SecureString 'PassPhrase' -AsPlainText -Force
C:¥PS>Set-DAPassPhrase -PassPhrase $passphrase -ConfirmPassPhrase $ConfirmPassPhrase
C:¥PS>$passphrase = ConvertTo-SecureString 'PassPhrase' -AsPlainText -Force
C:¥PS>Set-DAPassPhrase -PassPhrase $passphrase -LocalServerOnly
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-PassPhrase	必須	新しいパスフレーズ値を指定します。
-ConfirmPassPhrase	必須	新しいパスフレーズ値を確認します。
-LocalServerOnly	オプション	このパラメータはこのローカル サーバーのパスフレーズのみを変更します。このパラメータが使用され

		ない場合、パスフレーズの変更は DocAve システム内のすべてのサーバーに対して実行されます。
--	--	--

上位レベルから権限継承の中止

上位レベルから指定したオブジェクトの権限継承関係を中止するには、以下のコマンドを実行します:

```
Stop-DASPI inheritingPermissions [-SharePointWeb] <SharePointWeb[]> [<CommonParameters>]
```

```
Stop-DASPI inheritingPermissions [-SharePointList] <SharePointList[]> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例:

```
C:¥PS>$web = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointWeb ('Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10001/sites/site1', '/sites/site1') C:¥PS>Stop-DASPI inheritingPermissions -SharePointWeb $web
C:¥PS>$list = New-Object DocAve.API.Objects.SharePointList ('Farm(SP2010_DB:SHAREPOINT_CONFIG)', 'http://SharePoint2010:10001/sites/site1', 'sites/site1', 'list1') C:¥PS>Stop-DASPI inheritingPermissions -SharePointList $list
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-SharePointWeb	必須	権限継承を解除するオブジェクトとして、サイト指定します。
-SharePointList	必須	権限継承を解除するオブジェクトとして、リスト指定します。

コンテンツ マネージャー プランの構成の更新

既存のコンテンツ マネージャー プランの構成を更新するには、以下のコマンドを実行します：

```
Update-DAContentManagerOnlinePlan [-Plan] <ContentManagerOnlinePlan> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$plan = Get-DAContentManagerOnlinePlan -Name 'plan1'
```

```
C:¥PS>$plan.Name = 'plan2'
```

```
C:¥PS>Update-DAContentManagerOnlinePlan -Plan $plan
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Plan	必須	更新するコンテンツ マネージャーのオンライン プランを指定します。

最小単位バックアップ°プランの構成の更新

既存の最小単位バックアップ プランの構成を更新するには、以下のコマンドを実行します：

```
Update-DAGranularBackupPlan [-Plan] <GranularBackupPlan> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>$plan = Get-DAGranularBackupPlan -Name 'plan1'
```

```
C:¥PS>$plan.Name = 'plan2'
```

```
C:¥PS>Update-DAGranularBackupPlan -Plan $plan
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Plan	必須	最小単位バックアップ プラン オブジェクトを指定します。

物理デバイスの構成詳細の取得

物理デバイスの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DAPhysicalDevice [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

```
Get-DAPhysicalDevice [-Type] <StorageType> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DAPhysicalDevice -Name 'physical device1'
```

```
C:¥PS>Get-DAPhysicalDevice
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	1 つまたは複数の物理デバイス名を指定します。複数の物理デバイスは、カンマで区切って入力します。ワイルドカードがサポートされています。値を入力しない場合、すべての物理デバイスの情報が返されます。
-Type	必須	物理デバイス タイプを指定します。

論理デバイスの構成詳細の取得

論理デバイスの構成詳細を取得するには、以下のコマンドを実行します：

```
Get-DALogicalDevice [[-Name] <String[]>] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Get-DALogicalDevice -Name 'logical device1'
```

```
C:¥PS>Get-DALogicalDevice
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Name	オプション	1 つまたは複数の論理デバイス名を指定します。複数の論理デバイスは、カンマで区切って入力します。ワイルドカードがサポートされています。パラメータの値を入力しない場合、すべての論理デバイスの情報が返されます。

リアルタイム ストレージ マネージャー ルールの構成の更新

既存のリアルタイム ストレージ マネージャー ルールの構成を更新するには、以下のコマンドを実行します：

```
Update-DARuntimeStorageManagerRule [-Rule] <RuntimeStorageManagerRule> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:\PS>$rule = Get-DARuntimeStorageManagerRule -Name 'rule1'
```

```
C:\PS>$rule.Name = 'rule2'
```

```
C:\PS>$rule.CompressionLevel = 'level7'
```

```
C:\PS>Update-DARuntimeStorageManagerRule $rule
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Rule (または \$rule)	必須	構成が更新されるリアルタイム ストレージ マネージャー ルール オブジェクトを指定します。

アカウント マネージャーでユーザーの情報の更新

既存のユーザーの情報を更新するには、以下のコマンドを実行します：

```
Update-DAUser [-User] <UserBase> [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:\PS>$user = Get-DALocalUser -Name 'user1'
```

```
C:\PS>$user.Email = 'user1@example.com'
```

```
C:\PS>Update-DAUser $user
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-------	-----	----

-User	必須	ユーザーを編集するユーザー オブジェクトを指定します。
-------	----	-----------------------------

更新マネージャーで更新のアップロード

指定した更新をアップロードするには、以下のコマンドを実行します：

```
Upload-DAUpdate [-Path] <String> [-Overwrite] [<CommonParameters>]
```

コマンドの例：

```
C:¥PS>Upload-DAUpdate -Path 'C:¥Hotfix_6.0.0.51008601.zip' -Overwrite
```

コマンド パラメータを構成するには、以下の表を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
-Path	必須	更新ファイルのパスを指定します。
-Overwrite	オプション	コマンドレットは既存の更新を上書きすることができます。

通知

この発行に含まれている資料はAvePoint, Incに所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。この発行内の登録商標または著作権はいずれも削除または変更することができません。

著作権

Copyright © 2013 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0075 東京都港区港南 2 丁目 4-15 品川サンケイビル 2 階)、ならびに本書に掲載する情報がサード パーティに所有される場合サード パーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

登録商標

AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader はAdobe Systems, Incの商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく記載内容を変更する権利を所有します。

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0075 東京都港区港南 2 丁目 4-15

品川サンケイビル 2 階